

蜘蛛の糸

挿絵 書き換え
原 作
原 稿

芥川龍之介
宮崎 龍之介
虹 子

この日本語版グレイデイド・リーダーは JGR
プロジェクトグループが開発した試作品です。
販売を目的としたものではありません。

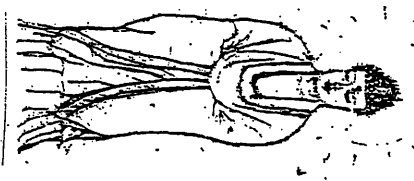
© 2003 by JGR プロジェクトグループ

地獄 極楽

悪いことをした人がいるところ
きれいで楽しいところ



糸



お釈迦さま

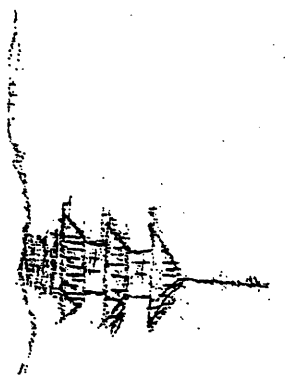


カンダタ

人はみんな、死にます。死んだら、どこへ行く
くでしようか。

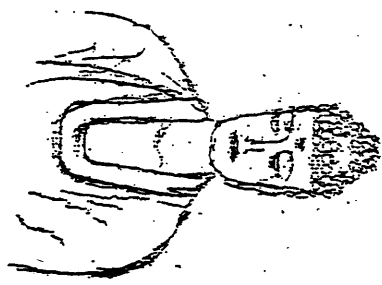
極樂へ行く人もあります。行くことができな
い人もあります。どんな人が極樂へ行くこと
ができるでしようか。いいことをした人でし
ようか。悪いことをした人でしようか。

極樂は、きれいで楽しいところです。極樂に
は、花がたくさんあります。いろいろな色の花
があります。赤い花もあります。白い花もあ
ります。花はみんな、とてもきれいです。



明るくて気持ちいい春の朝です。
極樂には、赤や白の花がたくさんあります。
花はとてもきれいです。

そして、お釈迦さまは歩いて行きました。



(2)

ここは極楽です。極楽には池があります。きれいな池です。池の中に花があります。たくさんあります。赤や白のきれいな花です。

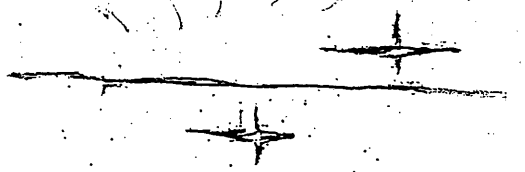
春の朝です。明るくて、気持ちいい朝です。男の人が極楽の池の近くを歩いていました。この男の人はお釈迦さんです。お釈迦さんは池の近くの花を見ました。そして、「きれいな花だ。」と小さい声で言いました。つぎに、池の中の花を見ました。そして、「これも、きれ

(4)

お釈迦さんは、極楽の池の上からカシダタを見ていました。あゝ、カシダタは血の池に落ちた。私はカシダタを地獄から出すことができなかった。カシダタは、自分ひとり、地獄から出たいと思つた。『自分ひとり』が大切だった。だから、カシダタはまた、地獄に行った。．．．とお釈迦さんは小さい声で言いました。

いだーと言いました。池には水がたくさんあります。きれいな水です。水の上にいるいろいろな色の花があります。赤い花もあります。白い花もあります。水の上の花と花の間から、池の下が見えます。池のずつと下は、地獄です。お釈迦さまは池のずつと下を見ました。地獄にたくさんの人がいます。たくさんさんの人の中に、男の人がいます。この男の人をお釈迦さまは知っています。た。

冷たくて赤い血の池の上に、極楽のきれいなクモの糸が一本見えます。一本のクモの糸はとてもきれいです。



「あ、あの男の名前は、えくと、忘れた。あ、ちよつと待って。そうだ！『カンダタ』だ。」



このカンダタは大泥棒でした。大泥棒は、悪い、悪い泥棒です。他の人のものをとりまします。他の人のお金や着物をとります。

そのときです。きれいなクモの糸がカンダタの手の上でプツンと切れました。カンダタは、「あつ」と言つて、冷たくて赤い血の池に落ちました。

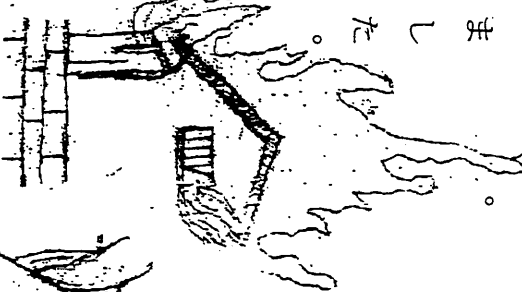


カシダタは大泥棒でしたから、他の人のものをたくさんとりました。お金や着物をとり

ました。カシダタは人を殺しました。

たくさんのお金や着物をとり、人を殺しました。

カシダタは人を殺して、



家の人々が驚いて家から出ました。

そのとき、家に入って、家の中のお金をと

くはない！赤い血の池へ行きたくない。地獄へ
帰りたくない！地獄は好きじゃない。極楽へ
行きたい。きれいな極楽へ行きたい！血の池
に落ちたくない。落ちたくない！――

「こちら！悪い泥棒たち！――

このクモの糸は私のもの

だ。私の糸と

をつかんで

上へ来ては

いけない！とカシダタは

大きな声で言いました。



ました。

カシダタはいろいろな悪いことをたくさんしました。でも、いいこともしました。ひとつ、

しました。

カシダタが道を歩いて
いたとき、カシダタの前を
小さいクモが一匹、歩いて
いました。

「あ、こんなところに一匹、

クモがいる。」カシダタは足で

クモを殺したいと思いました。でも、そのと

そうして、また下を見ました。

「あつ。あれはなんだ！」「カシダタはもっと大
きい声で言いました。

たくさんさんの人が、冷たくて赤い血の池からき

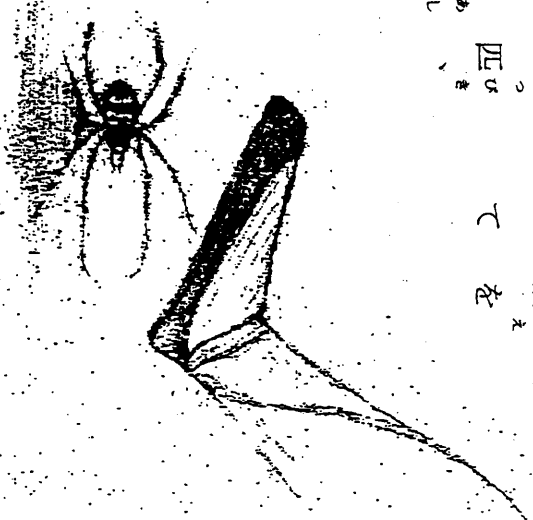
れいなクモの糸をつかんで、上へ上へ来るの

です。カシダタはこれを見て驚きました。

——これは、クモの糸だ。クモの糸は強くな
い。こんなにたくさんの人が糸をつかんだら、

このきれいな糸は切れる。切れる？

ああ、切れるかもしれない。切れたら、わた
しはまた、あの冷たい血の池に行く？ 行きた



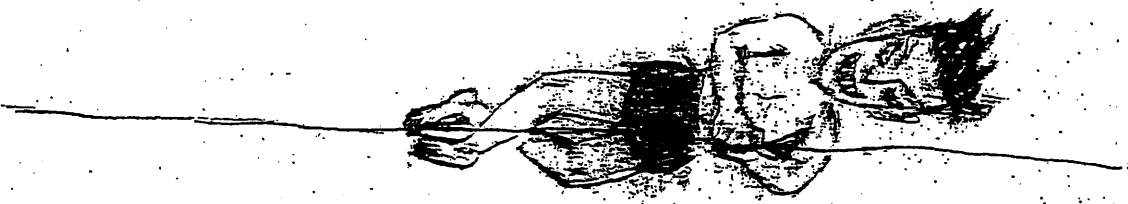
き、——待って。この小さいクモは生きてい
る———と思ひました。
———私と同じだ。私も生きている。このクモ
も生きている。私もクモも死んでいない、生き
ている。クモは生きているから、クモを簡単に
殺してはいけない———と思つて、殺しません
でした。

お釈迦さまは、地獄のカンダタを見て、思ひ
ました。

——カンダタは悪いことをたくさんした。で

ずつと下ですから、もう見えません。

「二つの手できれいなクモの糸をつかんで上
へ行ったら、地獄から出ることができる。ウ
ハハハ。」とカンダタは大きい声で笑いまし
た。



も、やさしい気持ちもあつた。クモを殺さなかつた。カシダタを地獄から出した。出すことはできないだろうか？――

お釈迦さまは近くを見ました。池の中にたくさん花があります。花の近くに葉があります。その葉の上にクモが一匹いました。クモは、葉の上で、糸を出していました。きれいな糸です。お釈迦さまは、そのきれいな糸を手にとりました。そして、その糸を花と花の間から水の中に入れました。

大泥棒でしたから、こんなことはとても上手です。でも、地獄から極楽までは、とても遠いのです。

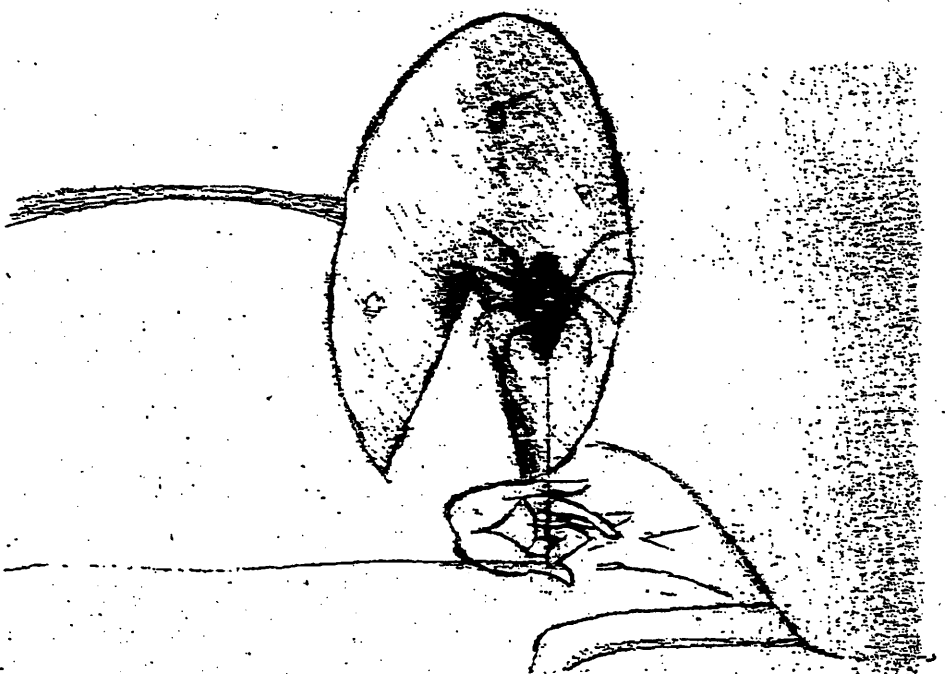
上へ行っても行っても、まだ上があります。カシダタは疲れました。手が痛い。足も痛い。――少し休みたい――、とカシダタは思いま

した。そして、休みました。下を見ま

した。冷たくて赤い血の池は下です。ずつと下です。



糸は下へ、下へ行きました。ずっと下へ行きました。



——ああ、あのきれいな糸を二つの手でつかみたい。二つの手でつかんで、上へ行ったら、

この血の池から出ることができる。地獄から出ることもできる。そして、上へ、上へ行っ

たら極楽まで行くことができるかもしれない。——とカシダダは思いました。

カシダダは、すぐきれいな

クモの糸を

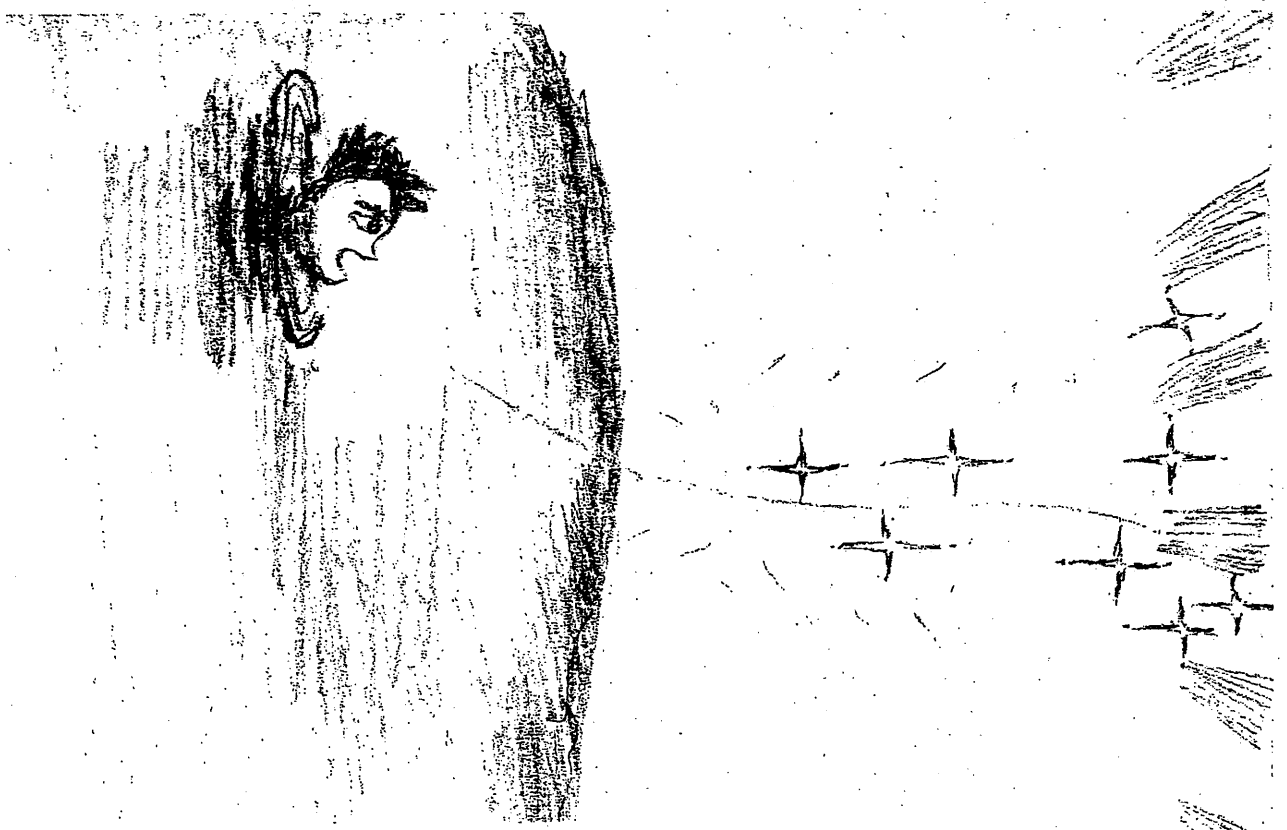
二つの手でつかみました。

そして、上へ上へ行きました。カシダダは



ここは、地獄です。地獄には、血の池があります。血の池は赤いです。たくさん悪い泥棒が人を殺しました。いい人たちがたくさん死にました。泥棒が殺したとき、いい人たちの体から、血がたぐさん出ました。赤い血が出ました。血の池は血はこの人たちの血です。そして、血の池はとてもしたいです。冷たい血の池にたくさんのがいます。悪いことをした人たちです。この人たちは、ときどき、冷たくて赤い血の

クモの糸です。きれいなクモの糸です。



池から頭を出して、「ハア——」と聞いて、また、冷たくて赤い血の池の中に入ります。

この人たちの中に、カシダタがいます。カシダタは、冷たくて赤い血の池から頭を出しました。——あ、この冷たい池は好きじゃない。この赤い血の池から出たい。わたしは悪くないことをたくさんした。だから地獄に来た。でも、地獄は好きじゃない。この地獄から出たい。どうしたら、出ることができるだろうか？——とカシダタは思いました。そして、血の池

の上を見ました。

血の池のずっと上は極楽です。その時です。

——あ、あれは何だ？——

カシダタは驚きました。ずっと上の遠い遠い極楽から、クモの糸がカシダタのところへ来、るのです。

